

平成29年度第1回経営協議会議事要旨

日時 平成29年6月12日（月） 15:00～16:55

場所 役員会議室

出席者 吉澤 靖之学長、
遠藤 信博委員（学外委員）、大野 喜久郎委員（学外委員）、
北島 義斉委員（学外委員）、白石 興二郎委員（学外委員）、
瀬下 明委員（学外委員）、福田 誠委員（学外委員）、
三澤 正文委員（学外委員）、山口 武兼委員（学外委員）、
烏山 一委員（企画・大学改革・国際展開担当理事）、
田上 順次委員（教育・学生・国際交流担当理事）、
渡邊 守委員（産学官連携・研究展開担当理事）、
田中 雄二郎委員（医療・国際協力担当理事）、
後藤 啓二委員（法務・コンプライアンス・地域貢献担当理事）

欠席者 須田 英明委員（学外委員）

陪席者 大崎 猛監事、春日野 珠恵監事、
木村 彰方特命副学長（研究・評価）、近藤 弘副学長（事務総括）、
田賀 哲也副学長（広報）、赤澤 智宏学長補佐（企画・研究情報）
谷本 雅男学長補佐（企画・施設）、遠藤 弘行総務部長、
飯田 和彦財務施設部長、下田 弘二学長戦略企画課長、
村松 正明人事課長、山口 和洋財務企画課長、高見澤 昭彦病院企画課長

○ 議事に先立ち、経営協議会委員及び陪席者から、自己紹介等があった。

○ 確認事項

1 平成28年度第6回経営協議会議事要旨（案）について

吉澤学長から、平成28年度第6回経営協議会議事要旨（案）について、資料1に基づき確認を行い、原案どおり承認された。

○ 審議事項

1 学長選考会議委員の選考について

吉澤学長から、学長選考会議委員の選考について審議願いたい旨の提案の後、資料2に基づき学長選考会議規則等について説明があり、審議の結果、遠藤委員、白石委員、瀬下委員及び福田委員を選出することが承認された。

2 平成28年度に係る業務の実績報告書について（案）

吉澤学長から、平成28年度に係る業務の実績報告書(案)について、審議願いたい旨の提案の後、木村特命副学長から、資料3-1及び資料3-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、最終的な取扱いについては、吉澤学長に一任することとした。

山口委員から、誤嚥性肺炎の予防は非常に重要な活動なので訪問診療だけでなく院内も含めて両面で活躍して欲しい旨の発言があった。

3 平成28年度自己点検・評価報告書【総評】について（案）

吉澤学長から、平成28年度自己点検・評価報告書【総評】(案)について、審議願いたい旨の提案の後、木村特命副学長から、資料4-1及び資料4-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、最終的な文言の修正等については、吉澤学長に一任することとした。

4 平成28年度決算について（案）

吉澤学長から、平成28年度決算(案)について、審議願いたい旨の提案後、山口財務企画課長から、資料5-1から資料5-6に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、最終的な文言の修正等については、吉澤学長に一任することとした。

瀬下委員から、前年度実績と今年度実績の比較など、簡潔で明快な資料の作成を検討して欲しい旨の発言があり、白石委員から、施設・設備投資についても複数年度の経営計画を立て、毎年、前年度の実績を振り返り、その結果に基づき改めて計画を見直すローリング方式の中で実績を示す資料の作成を検討して欲しい旨の発言があった。

この発言を受けて吉澤学長及び山口財務企画課長から、皆様方の意見を踏まえた予算管理の資料作成を検討する旨の発言があった。

また、福田委員からも、設備更新計画に関して質問があり、この質問を受けて

山口財務企画課長から、現在は年度予算ごとに設備更新費を計上しているが、今後は中長期的な設備更新計画の作成を検討する旨の発言があり、田中理事から、医学部附属病院の設備機器については6割程度がリースで対応しており、今後の運用については検討の必要がある旨の発言があった。

さらに、三澤委員から施設貸付料等の状況が見えるようにして欲しい旨の発言があった。

5 平成28年度資金運用実績及び平成29年度資金運用計画について（案）

吉澤学長から、平成28年度資金運用実績及び平成29年度資金運用計画(案)について、審議願いたい旨の提案後、飯田財務施設部長から、資料6-1及び資料6-2に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

6 管理職手当の見直しについて（案）

吉澤学長から、管理職手当の見直し(案)について、審議願いたい旨の提案後、村松人事課長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7 役員賞与の成績率の決定について（案）

吉澤学長から、役員賞与の成績率(案)について、審議願いたい旨の提案があり、支給対象の理事及び監事が退出した後、配付された資料8に基づき、吉澤学長から、説明があった。瀬下委員から、財務状況が厳しい中で尽力された吉澤学長の成績率についても、標準より上の評価をつけるのが妥当ではないかとの意見があり、審議の結果、吉澤学長の成績率については吉澤学長に一任することとし、原案どおり承認された。

資料8を回収した後、支給対象の理事及び監事が入室した。

○ 報告事項

1 平成28年度国家試験受験結果について

田上理事から、平成28年度国家試験受験結果について、資料9に基づき、説明があった。

2 第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について

木村特命副学長から、第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について、資料10-1から資料10-3に基づき説明があった。

3 経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に向け審議、活用した例について

木村特命副学長から、経営協議会の外部委員からの意見を法人運営の改善に向け審議、活用した例について、資料11に基づき説明があった。

○その他

1 学外委員から、全体を通して次のとおり、意見及び質問があった。

○福田委員から、統合機構がたくさんできると、所属する教職員にとって、本来の業務とかけ持ちになり業務負担になるのではないかと質問があった。

この質問を受けて、吉澤学長から、今まで分散していた業務を統合機構の設置により一つにまとめることで、統合機構に所属する教職員の業務内容を変更せずに大学全体の業務の効率化を図ることを目的としている旨の発言があった。

また、田中理事から、業務の効率化に関しては、統合診療機構において、メディカルの一括採用など、医学部附属病院及び歯学部附属病院の両病院を一括でコントロールできるメリットがある旨の発言があった。

○白石委員から、海外研修の支援の拡大や英語による授業及び人文系の教養教育の充実が今以上に必要ではないかとの質問があった。

この質問を受けて吉澤学長から、教養部の教員が少ないため、TV会議システムを活用して他大学の授業を導入する構想がある旨の発言があった。

○山口委員から、グローバル人材を育成するためには、人文系の教養教育の強化と倫理教育をしっかりと実施して欲しい旨の発言があった。

この発言を受けて吉澤学長から、生命倫理だけでなく研究倫理教育にも力を入れており、倫理的な問題に対する教育について努力している旨の発言があった。

○遠藤委員から、次の発言があった。

・教育や研究だけでなく、病院のオペレーションがあり、その病院のオペレーションの中にも運営の観点と診療の品質レベルの向上という観点があり、国立大学のオペレーションは軸が多く難しいという印象を受けた。

・教育、研究及び病院のオペレーション（運営・品質）に関してある程度の中期計画の中でKPIを設定する等により方向性を示しPDCAを回してはどうか。

・将来的にサービスの領域にはAIが必要となることから、研究の発展やオペレーションの合理化のために、AIを上手に活用することが重要になる。

・また、AIを活用するためにも、海外も含め、大学間・病院間での情報ネットワークの構築を検討してはどうか。

この発言を受けて吉澤学長から、大学の将来計画については、学長シンクタンク等において検討しており、地域ネットワークの構築も進めている旨の発言があった。

○山口委員から、東京都医師会の地域医療連携システム構築検討委員会において、都内の全病院でネットワークを構築する計画を立てており、まずは試験的に複数の病院で実施し、最終的には診療所や大学病院等を含めた、都内の全病院でネットワークを構築することを目指しているため、本学のネットワーク構築もその枠組みの中で検討してはどうかとの発言があった。

2 次回の経営協議会について

吉澤学長から、次回の経営協議会は、平成29年11月30日（木）の開催を予定している旨の発言があった。

（以上）